



海と山が育む
グローバル貢献都市へ

HISAMOTO Kizo

久元きぞう

主要政策

挑戦に向けた決意

久元 きぞう



私は、市長就任以来8年にわたって、神戸を安定した成長軌道に乗せていくため、「大切なものはしっかりと守り、断固たる決意を持って変えるべきところは変える」ことを基本に、全身全霊を傾けてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の出現により、神戸はもとより世界中の風景が一変しました。今なお予断を許さない感染症に対応するため、医療従事者の皆様は昼夜を問わず患者の治療に当たっておられます。また、多くの事業者や市民の皆様におかれては、営業時間の短縮や不要不急の外出自粛にご協力いただき、感謝申し上げます。

今後は、感染拡大を一日も早く抑え、市民の皆様への命と健康を守り、そして神戸経済を回復させることに全力で取り組んでまいります。阪神・淡路大震災から26年が経過し、震災という大きな危機を乗り越えてきた市民の皆様への力を結集することで必ず克服できると確信しています。

一方で、人口減少、少子超高齢化社会の進展による労働力の不足、東京一極集中への対応、社会保障費に要する市民負担の増大など、大都市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。

私は、こうした社会経済情勢の変化も見据え、市民のみなさんの知恵をあつめてSDGs

の考え方を盛り込んだ「神戸2025ビジョン」を策定し、各分野にわたる政策を強力に実行してきました。

人口の維持回復をはかるため、市内の拠点駅で大規模なリノベーションを進めたほか、都心・ウォーターフロントの再整備を力強く展開してきました。すべての世代を対象とした社会保障政策は厚みを増し、安心・安全、環境、芸術・スポーツなどの分野でも新たな政策展開をはかってきました。

豊かな自然を有する神戸において、市民の生命を守ることを最重点課題とし、コロナ禍で見いだされた新たな価値の創造に努め、withコロナ時代、さらにポストコロナ時代に対応した、スピード感のある様々な施策を複層的に展開するとともに、神戸2025ビジョンの実現を通じてSDGsの達成をはかり、未来の世代が過度な負担を背負い込むことがないよう、堅実な成長戦略により、さらなる都市の成長を促すという好循環を創出していきます。

令和の時代に間違いなく進化するテクノロジーを取り入れながら、持続可能な大都市経営を行うことで、神戸を「さらなる高み」へ押し上げ、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、引き続きよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

01

コロナとのたたかいに打ち克つ

中央市民病院における 重度・中等度患者治療

コロナ重症患者専用の臨時病棟（令和2年11月供用開始）の安定的運用を行い、重症者の回復に全力で対応します。また、重度・中等度のコロナ患者対応への備え（設備・体制・マニュアル化など）に取り組み、感染症に強い医療提供体制の構築に全力をあげて取り組めます。



コロナワクチンの迅速な接種

医師会・歯科医師会・民間病院協会・薬剤師会などとの強固な連携・協力関係のもと、市民が安心してワクチンを接種できる体制・仕組みを構築し、楽天グループ・神戸大学などとの産学官連携による全国初の市独自の大規模接種会場の設置をはじめ、迅速な接種を行います。



健康科学研究所による 変異株の検査・解析強化

コロナ変異株について迅速な遺伝子解析を行い、対策強化を打ち出すほか、健康科学研究所の機能を最大限活用し、コロナ対策の強化をはかります。

疫学調査などを担う 「保健所」機能の強化

ICT ツールによる疫学調査やオンライン面談の導入などにより、効率的な業務スキームを構築します。また、保健師などの大幅な体制強化により、感染拡大防止対応のほか、平常時における母子保健・療育・難病・フレイルなど保健行政の充実をはかります。

失業・休業などにより 生活が困窮した方への支援の充実

住居確保給付金や各種減免などの緊急支援、ハローワークと連携した就労支援、地元企業への共同就職説明会の開催、子どもの学びの機会の提供など生活基盤の回復に向けた支援を充実します。

コロナ禍に直面する 市内事業者支援の充実

コロナ禍を乗り越えるための経営継続支援、消費喚起、事業転換・販路拡大支援など、幅広い業種を対象に多様な支援を展開します。また、事業継承（M&Aを含む）や企業間の雇用調整など、事業継続に向けた支援に取り組みます。



02

健康と安全を守る

西市民病院の建替えなど 市民病院群の機能拡充

西市民病院について、感染症対応をはじめ市街地西部の基幹病院として医療提供・地域連携を強化するため、新長田駅近隣に移転・再整備します。また、西神戸医療センターについても、将来的な移転・建替を検討するとともに、感染症対応を強化できるよう、病床や院内動線の改修を行うなど機能強化をはかります。

「認知症神戸モデル」の発展拡充

「認知症神戸モデル」(診断助成・事故救済制度)で得られた診断・事故情報などを蓄積・分析することにより、診断の高度化、事故救済制度の充実、神戸モデルの全国制度化に向けた働きかけを進めます。



フレイルケアの推進

高齢者は外出自粛などにより筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい傾向があることから、3つの柱である栄養(食・口腔)、運動、社会参加による予防・改善プログラムの充実をはかります。

防犯灯・防犯カメラの拡充

駅周辺や通学路などの防犯カメラの大規模な増設、街灯の大幅な増設・LED化・私道への設置により、人にやさしい明るい神戸のまちづくりを進めます。



「水冷都市・神戸」としての 異常高温対策の展開

異常高温対策として、夏期の散水強化、ミスト整備、屋上・壁面緑化など、産学官のあらゆる知恵を投入・挑戦することにより、「水冷都市・神戸」を目指します。



03

温もりのある地域社会を創る

中学校給食の全員喫食と負担軽減

全ての中学生が温かい給食を喫食できるよう給食センターの整備や給食費の負担のあり方について検討を進めます。また、当面の間、一部保温食缶を導入します。



高校生の通学支援など 経済的負担の軽減

低所得世帯の生徒に対する PC の無償貸与に加え、通学定期券購入支援の対象拡大など、高校生家庭の経済的負担のさらなる軽減を検討します。

子ども食堂を全小学校区で展開

家庭支援、子どもの居場所づくり・多世代交流の場として、全小学校区に地域住民の社会参画による“子ども食堂”を展開します。



1人1台端末の活用による新たな教育 モデルの推進(GIGA スクール構想)

児童生徒1人1台の学習用 PC や ICT 機器を活用することにより、学力の向上、個人の理解度に応じた学習支援に取り組みます。また、臨時休校時などには、学習用 PC をオンライン学習や家庭学習ツールとして活用することにより、学力の向上に努めます。

高齢者就労の推進

高齢者の生きがいづくり、知識・ノウハウの活用、就労による健康寿命の延伸などのため、シルバー人材センターも活用し、高齢者の就労環境の充実をはかります。

声をあげられない 孤独・孤立した若者への支援

ひきこもり、発達障害、家庭・地域社会の変容により孤立・孤独を抱える若者に対して、行政・支援機関・地域・教育機関などが連携して支援の手を差し伸べます。



04

のびやかなくらしと環境を創る

王子公園の再整備

動物園のリニューアル、新王子スタジアムの整備、大学の誘致、憩える芝生広場の整備など、利便性の高い文教地区の特性を活かし、王子公園の再整備によりさらに高質なまちを実現します。



ポストコロナに対応する オープンな公共空間の創出

三宮クロススクエアなど道路空間の開放や東遊園地における野外マーケット開催など、ポストコロナにも対応した居心地の良いオープンな公共空間を創出します。



高齢者に優しい歩行環境の整備

歩道の段差や波打ちの解消、歩道や坂道におけるベンチや手すりの設置、バス停のベンチ設置など、高齢者をはじめ歩行者にやさしいまちづくりを進めます。



神戸の里山・農村の再生

NPO法人や大学生などと連携した竹林・里山の適正管理の取り組み、神戸歴史遺産制度による伝統芸能継承の支援、茅葺民家の保全など、西北神地域における自然文化環境の保全に取り組みます。

また、集落営農組織の広域法人化、スマート農業の導入・拡大、新規就農者への就農実践ファームの拡充、農家後継者支援などにより、神戸の実情に応じた持続可能な農業を振興します。

六甲山・摩耶山における 賑わいの創出

都市近郊にありながら豊かな自然が保全されている六甲山・摩耶山に、宿泊施設やレストラン、自然型オフィスを誘致するとともに、自然、アート、トレッキング、食など多様な楽しみを満喫できる体験プログラムを展開します。また、自然の家をリニューアルして、恵まれた自然環境を活かしたスマホ依存からの脱却をはかる拠点として活用します。



水素社会の実現

カーボンニュートラルの実現に向け、世界初の海上輸送実験をはじめとするサプライチェーンの構築や水素利用システムの開発、燃料電池自動車（FCV）の普及に民間事業者と連携して取り組みます。



市民・経済界・アーティストと 連携した芸術文化活動の推進

市民、経済界やアーティストと一緒に「神戸の芸術文化を支える仕組みづくり」を推進します。ストリートピアノの市営地下鉄海岸線全駅設置やストリートキーボードの配置により、身近な場所で音楽を奏でることができる環境を整備するとともに、ミュールアートやまちなか音楽祭などにより、まちなかで文化・芸術に触れる機会を創出します。

留学生に対する支援の充実

留学生が早く日本の生活習慣・医療保険制度などを理解し活用できるように、また、卒業後の進路や就職などの情報をいち早く提供できるよう、市内の大学・日本語学校・技能実習生受入企業との連携を強化します。

05

力強い神戸経済を創る

神戸医療産業都市の推進

神戸医療産業都市推進機構・本庶理事長マネジメントのもと「次世代医療開発センター」の活用により、企業との連携を加速させ、自己免疫疾患など新たな治療法への研究開発を推進します。また、神戸未来医療構想に掲げる産学医官の連携による医療機器開発のイノベーションを継続的に生み出すエコシステムを形成します。

スーパーコンピュータ「富岳」を活用した研究・産業利用促進

世界最高水準のスーパーコンピュータ「富岳」による、コロナ禍における飛沫シミュレーションのような研究成果を継続的に発信するとともに、産業利用を促進し地域経済の活性化につなげます。



Be Smart KOBE ～新たな ICT 技術の実用化

海・山をはじめ市内の全地域で、最先端の ICT 技術の開発の実証フィールドを提供し、ドローンによる貨物配送実装、画像認証技術の活用など、デジタル技術が早期に市民の生活の豊かさにつながるよう新たな ICT 技術の実用化に努めます。

六甲山上スマートシティ構想の推進

六甲山上の遊休保養所などを活かした都市型創造産業の集積をはかるため、光ファイバー敷設や Wi-Fi 整備支援、山上の水道料金の引き下げなどにより、シェアオフィス・コワーキングスペースやビジネス交流拠点などの整備を進めます。



スタートアップが輝き、 経済をけん引する街

世界トップレベルのスタートアップ支援組織「500startups」や国連プロジェクトサービス機関 (UNOPS) などとの連携によるプログラムを提供し、また市独自で世界的に著名なメンターを活用したプログラムを実施することで、世界中のスタートアップ企業に活動・交流の場を提供します。



新たな産業団地の開発・整備

西神戸ゴルフ場跡地に、神戸テクノ・ロジスティックパークに続く新たな産業団地を開発・整備します。



06

未来に輝く神戸の街を創る

美しき港町・神戸の玄関口 ”三宮”へ

民間活力を導入し、新たな駅前広場、高規格のオフィス・ホテル、西日本最大級の高速バスターミナル、三宮クロススクエア、文化ホール、図書館、体育館などを順次整備するとともに、様々な人が活動する港町・神戸の象徴となる新しい駅前空間を整備します。



西神中央活性化プラン ～進化する上質なまち～

西神中央に西区役所、西神中央ホールや西図書館を整備し、それらにつながる西側駅前広場、プレンティ広場や商業施設をリニューアルします。また、現・西区役所に出張所機能のほか、地域福祉センターや学習室などの新たな機能を追加整備し上質な街へ再生します。



ウォーターフロントエリアへの 回遊性向上

神戸ポートミュージアムや1万人規模のアリーナ整備をはじめ、賑わいづくりが進むウォーターフロントの回遊性を高めるため、税関前歩道橋のリニューアルや、ハーバーランド～中突堤・ウォーターフロント～三宮など都心エリアを回遊できる連節バスを運行するとともに、LRTなどの新たな移動手段の検討を進めます。



垂水活性化プラン ～生まれ変わる海辺のまち～

駅前空間再整備、垂水図書館や垂水体育館の再整備、中核的医療施設の誘致、子育て支援拠点「おやこふらっとひろば」の整備に加え、民間再開発事業により良質な住宅を供給し、垂水駅周辺を元気あふれる街へ再生します。



名谷活性化プラン

～躍動する多世代共生のまちへ～

名谷駅ビルのリニューアル、駅北テナントビルの新設、名谷図書館の開設、北須磨支所の統合・再整備、ロータリーの改良に加え、商業施設や落合中央公園、北須磨文化センターをリニューアルするなど、名谷駅周辺を新たな街に再生します。



ポートアイランド・ 六甲アイランドの活性化

ポートアイランドスポーツセンターの移転・再整備、青少年科学館のプラネタリウムリニューアル、入居企業との協働によるファッションタウン活性化や、ポートピアホテル隣接地・みなと空港線沿いの2期用地の暫定利用等のプロジェクトを展開することでさらなる活性化を進めます。

また、六甲アイランドにおいても、ファッションマート・ファッションプラザ玄関口を再整備するほか、プラザ内の吹き抜け「サン広場」を子どもが楽しめる空間に改修します。また、AOIA跡地を活用して、グランピングなど大人も子どもも楽しめる空間にリニューアルするなど、にぎわいづくりの取り組みを推進します。

神戸港の港勢拡大と港運の活性化

国際コンテナ戦略港湾におけるコンテナ船の大型化に対応した高規格コンテナバースの整備、生産性の高いAIターミナルの実現やカーボンニュートラルポートの整備に向けた取り組みを推進します。

また、重点的な航路誘致、アジア・北米間のトランシップ貨物や西日本諸港における国際貨物の誘致などにより、神戸港の貨物取扱量の増大・地位向上をはかります。



神戸空港の国際化などの 利活用拡大

さらなる発着枠の拡大及び運用時間の延長による就航都市・便数の拡大により市民の利便性を高めるとともに、定期便の国際化を見据え、ビジネスジェットの入体制整備による発着便数の増加に取り組みます。



07

DX の活用による市民参加を進める

※DX：デジタル技術やデータを駆使して社会や暮らし全体がより便利になるよう変革していく取り組み

市民参加による社会課題の解決

コロナ禍を契機として、社会・経済的に課題を抱える人と「応援したい人」をマッチングするサイト「with コロナ KOBE 応援プラットフォーム」を継続して運用するなど、市民参加による社会課題の解決に向けた取り組みを強化します。

さらに、ネットモニターと市長との対話フォーラムの継続開催や社会人・学生がNPOなどの地域課題に参画できる場「社会貢献プラットフォーム」の整備などを通じた市民参加を促進するほか、留学生などによる地域活動や学習支援への社会参加を促進します。



DX を活用した地域活動支援の充実

全ての地域福祉センター・児童館にWi-Fi設備を導入し、非対面でも情報交換・活動ができる環境を整えるとともに、小中高生などが持参する学習用PCを活用した学習ができる環境を整えます。

デジタル改革によるスマート自治体の実現

書面・押印・対面主義などのアナログ慣行を見直し、行政手続きの積極的なICT化の推進により、市民サービスの充実と業務効率化を兼ね備えたスマート自治体へと転換します。



少子超高齢化社会の進展やコロナの影響をふまえた徹底した行財政改革

少子化による生産年齢人口の減少、高齢者の増加による社会保障費の増大、コロナ禍による厳しい財政状況をふまえ、徹底した行財政改革や職員数の削減に取り組みます。

県市協調の取り組みの充実

新型コロナウイルス感染症対策、北神急行市営化への支援、東京事務所の統合、新長田合同庁舎の整備、兵庫津の道の活性化など、これまでの県市行政の連携・集約の成果をふまえ、今後も都心再整備など積極的に県市連携に取り組みます。

これまでの実績と政策の詳細版（政策集）については、
WEB サイトをご覧ください。



<https://hisamoto-kizo.com/>

